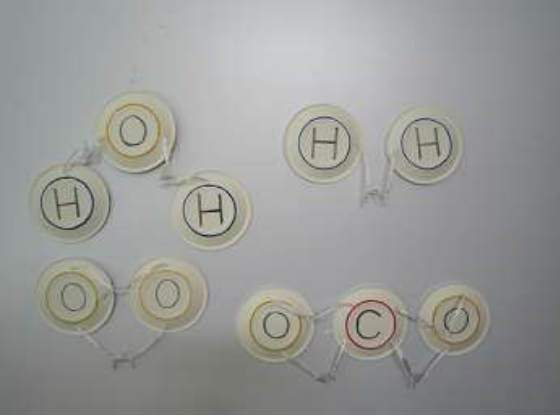


「教材・教具説明書」

学部(小・中・高)

化学 操作 視覚教材	
教材・教具名	分子の構造式説明モデル
対象児童・生徒	中学部3年生
教材教具写真	
作製・制作のねらい	代表的な原子について手の本数をモデル化することで、原子を組み合わせて分子を作る時の学習での理解に役立てることができる。
作り方	<ol style="list-style-type: none"> ①紙皿にそれぞれの原子の原子記号を書く。 ②それぞれの原子の手の数だけ紙皿に穴を開けクリップのついたひもを通す。 ③クリップ同士をつなげ、分子を作る。 ④紙皿の裏に強力マグネットをボンドでつける
教材教具の効果	*対象生徒の欠席のため、授業で試みることはできなかった。原子モデルの視覚化により、原子の組み合わせや原子モデルの構造をより具体的に示し、わかりやすく伝えることが可能になると考えられる。また実際に生徒に扱わせる(操作させる)ことも、学習の理解を助けられると思われる
今後の課題・改善点	紙皿が白色なので、ひもの色は赤などの目立ちやすい色の方が良かった。